

2024 年度 高大接続入試【事前体験型】経営学部の講評

● 事前体験型講義

事前体験型講義は、2023年8月24日（木）に80分の講義を2コマ実施しました。1つ目の講義は、日常に深く関わりのある「フレーミング効果」をテーマにした内容でした。フレーミング効果とは、同じ情報でも、それを提示する方法によって人々の判断や意思決定が変化する現象のことを指します。2つ目の講義は、実在する企業の賃借対照表及び損益計算書を読み取ることで会社を推測するという内容でした。レポートはそれぞれの講義で作成を課しました。

講義内容は大学1年生を対象としたレベルに設定し、座学形式で実施しました。講義後に実施したアンケートでは、多くの受講生が経営学について理解できたと回答しており、後輩に本講義の受講を勧めたいと回答しました。その主な理由として、「大学の講義の雰囲気分かるから」、「経営学部の講義を体験できる良い機会だから」、「合格の幅が広がるから」などが挙げられました。

● 選考

事前体験型講義を受講することで受験資格が得られます。本入試では、出願書類、事前体験型講義の際に課したレポート、11月18日（土）に実施した小論文、面接（口頭試問）の結果をもとに総合的に判定しました。

小論文は、効率追求の観点からコスト・パフォーマンスやタイム・パフォーマンスを重視する傾向がみられる現代に関する内容でした。これを踏まえ、今後の社会における効率のあり方について、自分の体験を交えながら意見を述べることを求めました。

面接（口頭試問）では、事前体験型講義での内容や大学入学後の学習計画について重点的に質問しました。

● まとめ

高大接続入試【事前体験型】経営学部は、2019年度から始めた入試方式です。この入試の特徴は、大学に入学する前に講義を受け、「経営学部での学び」を実感してもらった上で、受験できることです。試験の点数だけでは見ることのできない「将来の可能性」を評価する中京大学独自の入試方式です。学びの目標を明確にして中京大学経営学部を受験してほしいと考えています。今後も、入学後の学生の様子や受験生の学力を振り返りながら、選考のあり方を検討していきます。